

【情報名】簡易夜冷装置によるイチゴの地床夜冷法							
部門	野菜・花き	専門	栽培	分類	指導	連絡	栽培部
【実施機関名】三重県農業技術センター						先	05984-2-6359
<p>【要約】簡易夜冷装置内に仮植床を設け、地床育苗したまま短日夜冷処理を施せば、地床育苗なみの労力で夜冷育苗と同等の花芽分化促進効果が得られる。</p> <p>キーワード: イチゴ、夜冷、地床育苗、省力</p>							

【背景・ねらい】

超促成栽培において、夜冷育苗の簡易化を進め、省力・低コストで安定的な花芽分化促進技術を開発する。

【情報の内容・特徴】

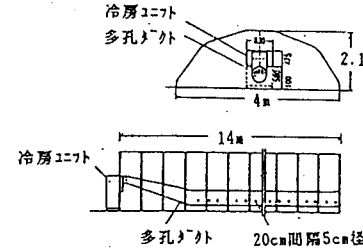
地床夜冷法(仮称)とは、簡易夜冷装置内に仮植床を設け、地床育苗したまま短日夜冷処理を施す方法であり、その装置はパイプハウスを断熱性被覆材で被い、冷房ユニットから冷気を送り出す方式である(第1、2図、第1表)。

1. 地床育苗なみの労力で、夜冷育苗と同等の花芽分化促進効果が得られる(第2表)。
2. 年内収量は、4号ポットで育苗した苗と同程度に得られる(第3表)。
3. 育苗方法は、原則として地床育苗法に準じ、仮植床の元肥は窒素成分で5kg/10a、定植までの育苗期間は約2カ月とする。
4. 夜冷処理4日程前に必ず断根ずらしを行う。

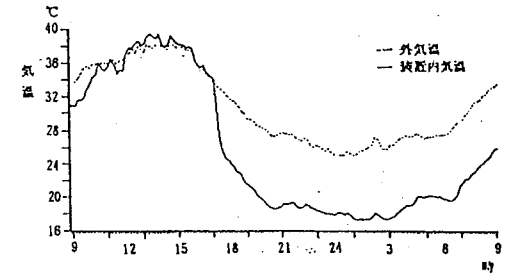
【情報活用上の留意点】

1. 設置場所は排水のよい所とし、病害回避に留意する。
2. 地床育苗であるため、定植後の活着はポット育苗よりも配慮する。

【具体的データ】



第1図 供試簡易夜冷装置の構造
被覆材: テクミラー
冷房ユニット: 473-型ACU-ST50 (3350/3750 Kcal/h)



第2図 簡易夜冷装置内の気温および外気温 (1990.8.3)

第1表 装置の収容可能株数と価格

装置	タイプ	価格	育苗方法	収容可能株数
簡易夜冷	1.2万本*	約80万円	ポット(3号)	12,000株
慣行	1万本	約200万円	ポット(3号)	10,000株

*: 間口5.4m×長さ24m×高さ2.6m。冷房ユニット1基。

第2表 苗の葉柄汁中の窒素濃度及び出蕾株率の比較

試験区	葉柄汁中の窒素濃度指数*		出蕾株率		
	入庫時	定植時	9/25	10/2	10/9
地床断根区**	162	154	80%	100%	100%
地床無処理区	169	184	36	71	92
対照区***	100	44	100	100	100

品種: 女峰 夜冷処理: 7/26~8/19(24日間) 8時間日長
*: 窒素濃度指数は、対照区の入庫時の値を100とした値。
**: 栽植密度 12cm×12cm
***: 対照区は4号ポットで育苗した苗を簡易夜冷装置で処理。

第3表 年内収量および頂果房花数の比較

試験区	収穫果数*	収量*	平均果重	頂果房花数
地床断根区	11.9個	95.7g	8.04g	16.6個
地床無処理区	9.7	77.9	8.02	16.6
対照区**	14.0	97.0	6.92	19.8

*: 収穫果数と収量は、1株当りの数値
**: 対照区は4号ポットで育苗した苗を簡易夜冷装置で処理。

【その他特記事項】

研究課題名: イチゴ女峰の超促成栽培技術の確立
研究期間: 平成2年~3年 予算区分: 県単
研究担当者: 森 利樹・西口郁夫
発表論文等: 三重農技セ・野菜試験成績書(平成3年度)